

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイレップ

コード番号 2132 URL <http://www.irep.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 紺野俊介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 室井智有

TEL 03-3596-8700

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	17,369	58.0	470	14.0	475	13.5	256	△6.1
23年9月期第2四半期	10,991	103.6	413	130.2	419	132.7	272	306.6

(注) 包括利益 24年9月期第2四半期 285百万円 (△0.8%) 23年9月期第2四半期 287百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	9,390.74	9,283.48
23年9月期第2四半期	10,055.18	9,929.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	8,214	2,737	33.3
23年9月期	6,393	2,492	39.0

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 2,737百万円 23年9月期 2,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,914	39.8	924	21.8	929	21.0	520	21.9	19,077.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年5月8日)公表いたしました「平成24年9月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	27,580 株	23年9月期	27,580 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	316 株	23年9月期	316 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	27,264 株	23年9月期2Q	27,107 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 主要な連結子会社の業績の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種の政策効果などを背景に緩やかな景気の改善が続いているものの、雇用情勢は依然として厳しい状態にあり、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州の政府債務危機や原油高による海外景気の下振れ懸念など、景気を下押しするリスクが存在し、実体経済の先行きについては引き続き厳しい状況が続くものとみられております。

一方、当社グループが関連するインターネット広告市場においては、平成23年の広告費が8,062億円（前年比4.1%増：株式会社電通調査）と順調に市場が拡大しております。そのうち、当社が専業とするSEM市場は2,194億円（前年比7.8%増）と引き続き成長を続けており、モバイル広告は1,168億円（前年比2.7%減）と微減したものの、スマートフォン向け広告は337億円と大きく伸長しております。

このような状況にあって当社グループ（当社及び連結子会社2社）は、前期に引き続きリスティング広告とSEOを中心としたSEM事業を、SEM専業企業として技術志向のマーケティング支援を中心として行ってまいりました。東日本大震災後もリスティング広告を中心に業績を伸ばしており、モバイルSEMソリューション、リスティング広告とアフィリエイトマーケティングを組み合わせたマーケティングソリューション、自社サイトの運営など関連サービスの提供も進めております。また、SEMやアフィリエイトマーケティングを中心として広告主のマーケティングを最適化する「デジタルマーケティングエージェンシー」への転換を加速し、デジタルマーケティング領域における強固なポジションを確立すべく、戦略を推進しております。具体的には、デジタルマーケティングの実践における戦略策定から効果検証までの一連の業務を統合管理するデジタルマーケティングプラットフォーム「Marketia（マーケットィア）」の本格稼働、グローバル関連広告ソリューションのような新サービスの提供などを開始いたしました。

連結子会社である株式会社レリバンシー・プラスにおいては、広告代理店を対象としたSEMサービス事業を実施しており、また、海外市場向けSEM関連サービスの運用を行う連結子会社として株式会社フロンティアデジタルマーケティングを設立いたしました。一方、親会社であるデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社とも協力して事業を推進する体制にあり、これらにより、SEM領域における事業シナジーの強化やスケールメリットの追求ならびに更なる経営効率化を行い、グループの経営一体化及びネット広告市場における競争力を強化しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高17,369百万円（前年同期比58.0%増）、営業利益470百万円（同14.0%増）、経常利益475百万円（同13.5%増）、四半期純利益256百万円（同6.1%減）となりました。

なお、当社グループは、デジタルマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて1,820百万円増加し、8,214百万円となりました。これは主に、売掛債権の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加1,521百万円及び本社移転等に伴う有形固定資産の増加263百万円等によるものであります。

負債については、前連結会計年度末と比べて1,575百万円増加し、5,476百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加に伴う買掛金の増加1,492百万円等によるものであります。

純資産については、前連結会計年度末と比べて244百万円増加し、2,737百万円となりました。これは主に、配当金の確定により40百万円減少するも四半期純利益256百万円の計上により利益剰余金が215百万円増加したこと等によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて290百万円減少し、1,257百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は234百万円（前年同四半期は105百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の増加1,523百万円及び法人税等の支払179百万円等の減少要因があったものの、仕入債務の増加1,484百万円及び税金等調整前四半期純利益446百万円等の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は484百万円(前年同期比527.7%増)となりました。これは主に、本社移転等に伴う有形固定資産の取得243百万円及び敷金及び保証金の差入165百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は40百万円(前年同四半期は166百万円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払40百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、海外経済状況の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、予想以上に、当社グループの中心的なサービスであるリスティング広告の出稿が増加いたしました。リスティング広告が継続的に成長する一方で、モバイル・スマートフォン向けアドネットワーク広告の取り扱いも増加しており、連結売上高は当初の予算を上回りました。また、利益においては、平成24年2月に実施した新本社移転に関する費用を計上いたしました。また、リスティング広告及びSEOの販売の伸びによる利益額の確保に加えて、継続的な販管費等支出の管理を行ってきた成果がでております。

通期におきましても、引き続き成長が続くと予想されるSEM市場を中心としたインターネット広告の市場において、当社グループは、グループ企業間での連携強化とシナジーの活用により競争力を高め、「デジタルマーケティングエージェンシー」として「デジタルマーケティング領域」において、モバイル関連やソーシャルメディア領域など幅広く、総合的にクライアントとのパートナーシップを構築して参る所存であります。こうした戦略により、売上高の増加が見込まれ、一方で、利益については売上高増加の影響が見込まれるほか、グループシナジーの追求により効果的な管理費用の削減などに努めて参ります。

以上により、当第2四半期連結累計期間においては、売上高・四半期純利益共に平成23年11月14日公表の第2四半期連結累計期間の連結業績予想を上回る結果となり、これらの実績と当社グループの現状の取り組み状況を考慮し、通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成24年5月8日)公表しました「平成24年9月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,548,630	1,257,680
受取手形及び売掛金	3,919,681	5,441,270
その他	141,345	232,263
貸倒引当金	△4,709	△6,961
流動資産合計	5,604,949	6,924,254
固定資産		
有形固定資産		
建物	940	210,518
減価償却累計額	△663	△7,091
建物(純額)	276	203,427
工具、器具及び備品	78,764	154,492
減価償却累計額	△38,230	△53,731
工具、器具及び備品(純額)	40,534	100,761
有形固定資産合計	40,810	304,188
無形固定資産		
のれん	17,885	14,155
その他	59,429	88,730
無形固定資産合計	77,314	102,885
投資その他の資産		
その他	671,491	883,701
貸倒引当金	△784	△784
投資その他の資産合計	670,706	882,916
固定資産合計	788,831	1,289,989
資産合計	6,393,780	8,214,243
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,909,620	4,402,271
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	185,919	172,483
賞与引当金	12,379	11,627
その他	544,906	618,782
流動負債合計	3,852,826	5,405,164
固定負債		
その他	47,990	71,600
固定負債合計	47,990	71,600
負債合計	3,900,816	5,476,765

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,640	545,640
資本剰余金	535,640	535,640
利益剰余金	1,343,739	1,558,872
自己株式	△44,807	△44,807
株主資本合計	2,380,211	2,595,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,751	142,133
その他の包括利益累計額合計	112,751	142,133
純資産合計	2,492,963	2,737,478
負債純資産合計	6,393,780	8,214,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	10,991,310	17,369,373
売上原価	9,518,353	15,319,690
売上総利益	1,472,957	2,049,683
販売費及び一般管理費	1,059,661	1,578,690
営業利益	413,296	470,993
営業外収益		
受取利息	158	164
受取配当金	2,887	2,900
持分法による投資利益	3,320	—
受取販売協力金	—	1,904
その他	1,054	1,303
営業外収益合計	7,420	6,273
営業外費用		
支払利息	13	581
創立費	—	322
開業費	—	449
解約違約金	1,160	—
その他	189	30
営業外費用合計	1,363	1,383
経常利益	419,352	475,882
特別利益		
負ののれん発生益	6,275	—
特別利益合計	6,275	—
特別損失		
段階取得に係る差損	3,320	—
解約違約金	—	24,912
その他	—	4,470
特別損失合計	3,320	29,383
税金等調整前四半期純利益	422,308	446,499
法人税、住民税及び事業税	125,490	166,533
法人税等調整額	25,207	23,937
法人税等合計	150,697	190,470
少数株主損益調整前四半期純利益	271,610	256,029
少数株主損失(△)	△961	—
四半期純利益	272,571	256,029

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	271,610	256,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,140	29,381
その他の包括利益合計	16,140	29,381
四半期包括利益	287,751	285,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288,712	285,410
少数株主に係る四半期包括利益	△961	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	422,308	446,499
減価償却費	10,587	29,399
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,885	2,252
受取利息及び受取配当金	△3,045	△3,064
支払利息	13	581
持分法による投資損益(△は益)	△3,320	—
負ののれん発生益	△6,275	—
段階取得に係る差損益(△は益)	3,320	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,219,064	△1,523,305
仕入債務の増減額(△は減少)	876,244	1,484,464
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,988	△751
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,324	△18,370
その他	△31,867	△6,347
小計	57,328	411,356
利息及び配当金の受取額	3,045	3,064
利息の支払額	△437	△578
法人税等の支払額	△165,253	△179,548
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,316	234,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,199	△243,583
無形固定資産の取得による支出	△1,396	△59,194
投資有価証券の取得による支出	△81,556	△8,202
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	19,738	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△165,582
敷金及び保証金の回収による収入	—	800
保険積立金の積立による支出	△8,778	△8,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,191	△484,541
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	—
株式の発行による収入	7,060	—
配当金の支払額	△40,089	△40,672
その他	—	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	166,971	△40,702
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,536	△290,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,504,614	1,548,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,489,078	1,257,680

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年3月31日)

報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、リスティング広告とSEOを中心としたSEMサービス、モバイルSEMソリューション、リスティング広告とアフィリエイトマーケティングを組み合わせたマーケティングソリューション及び自社サイトの運営などを行うデジタルマーケティング事業と、当社が保有する検索エンジンマーケティングのノウハウを提供して太陽光発電システムの販売サイトを運営するグリーンエネルギーマーケティング事業の2つの事業セグメントから構成されております。

しかし、これらのセグメントはいずれもSEMサービスとして提供するサービス及び手法が似通っており、経済的特徴、サービスの提供方法及び販売方法、業種に特有の規制環境等が概ね類似するため、これらを集約し「デジタルマーケティング事業」を単一の報告セグメントとしております。

なお、当第2四半期連結会計期間において、グリーンエネルギーマーケティング事業を行う連結子会社である株式会社グリーンエネルギーマーケティングを解散したことに伴い、同事業セグメントを廃止しております。

当社グループは、事業を集約し「デジタルマーケティング事業」の単一セグメントとしているため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年3月31日)

当社グループは、デジタルマーケティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの事業は、サービスの提供にあたり、製品の生産を行っていないため、当該記載を省略しております。

②仕入実績

当社グループは、デジタルマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの仕入実績の記載を省略しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における仕入実績を仕入先別に示すと、次のとおりであります。

仕入先	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	前年同四半期比 (%)
ヤフー(株) (千円)	6,890,885	43.1
Google, Inc. (千円)	6,364,782	72.8
その他(千円)	1,877,230	110.7
合計 (千円)	15,132,898	61.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③受注状況

当社グループの事業は、受注の確定から売上の計上までの期間が短いため、受注実績についてはその記載を省略しております。

④販売実績

当社グループは、デジタルマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの販売実績の記載を省略しております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
デジタル・アドバタイジング・コン ソーシアム(株)	3,228,494	29.4	5,651,993	32.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 主要な連結子会社の業績の概況

株式会社レリバンシー・プラスの業績の概況

当第2四半期累計期間における株式会社レリバンシー・プラスの売上高は5,758百万円、営業損失9百万円、経常損失9百万円、四半期純損失10百万円であります。